

米糠に代わるエサとして家畜飼料を検討

1 背景

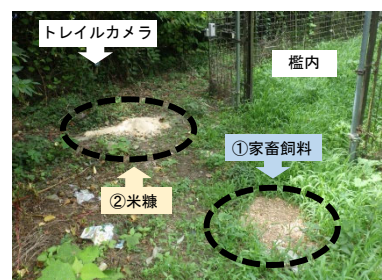
- 温州みかん専作地帯の八幡浜市・真穴地区では、箱わな捕獲で、規格外のみかんを用意できない時期(5～9月)のエサとして米糠を使用している。
- しかし、イノシシは米糠を食べず、この時期の捕獲が困難であったため、代替のエサとして家畜飼料(ペレット状の配合飼料)を検討した。



使用した家畜飼料

2 方法

- 令和5年7～11月、餌付け段階では、家畜飼料と従来の米糠を等量(3kg)檻の入口外側に置いた。
- 餌付けに成功した後、エサを檻内部へ移動し、捕獲を試みた。
- エサ代について、家畜飼料は1袋(20kg)約2,100円、米糠は1袋(20kg)約600円。
- トレイルカメラでイノシシの出没を確認しつつ、食痕を調査した。



家畜飼料と米糠の比較検討試験

3 結果

- 米糠に食痕がなく、家畜飼料には食痕があることを5事例確認した(トレイルカメラでイノシシが食べる姿も記録)。
- 昨年度の捕獲は米糠の使用で0頭だったが、今年度は家畜飼料で5頭の捕獲に成功した。
- エサ代は半年換算で約10,000円(5袋)であった。
- 調査地域の猟友会会員から次の声をいただいた。



家畜飼料



米糠

- 今回の調査では、**家畜飼料の使用は費用対効果に見合っている。**
- この地域で柑橘を全く使わず箱わなで捕獲したのは**初めてではないか。**
- 他の箱わなでも使用**してみたい。



確認 初日	頭数	食べた形跡	
		家畜飼料	米糠
8/30	2	○	×
9/2	1	○	×
9/29	3	○	×
10/14	1	○	×
11/22	1	○	×

4 考察

- 今年度の調査では、イノシシが好む生産物がない時期に米糠で捕獲できない地域においては、**家畜飼料の使用が有効な可能性**が示されました。
- 今後、他の箱わなでも使用し、効果の再現性を検証をする必要があると考えられます。

※詳細は「動画で見る有害獣捕獲マニュアル」に掲載しています。
URL : <https://ehime-hunting.com/pages/?p=5409>

